

敬老パスの交付実績

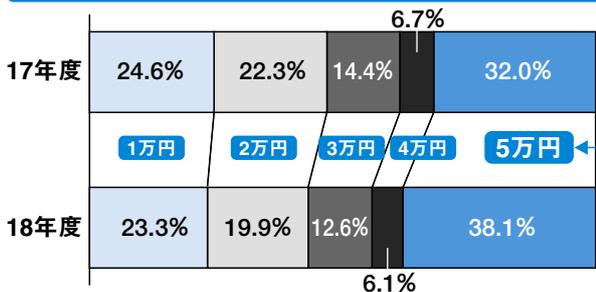
【詳細】 高齢福祉課 ☎211-2976

交付者数

	17年度(A)	18年度(B)	B-A
対象者(70歳以上)	196,616人	205,188人	+8,572人
交付者数	151,326人	154,249人	+2,923人
交付を受けた人の割合	77.0%	75.2%	-1.8ポイント

※17年度は9月交付者を除く、18年度は7月13日現在

交付を受けた人が選んだ金額



1万円から4万円の選択者が減り、5万円の選択者が増加

新制度移行による財政効果

新制度開始前と比べると、17年度の交通事業者への支払額は、8億9,500万円減少しましたが、交付対象となる70歳以上の方が今後増えていくため、敬老パス事業費の増加が予想されます。

■交通事業者への支払額



キーワード

敬老パス

新制度になった敬老パスの実績を公表

年間5万円の範囲で追加交付を行います

市内の公共交通機関に使用できる敬老パスを、年間五万円以内で追加交付します。十七年度に、無料パスから、一万円(一枚)から五万円(五枚)までの有料の乗車カードを選択する制度に変更となった敬老パス。その後の利用状況や市民の皆さんの声を踏まえ、今年度から、追加交付と

未使用カードの払い戻しを行うことになりました。追加交付を希望する方は、八月中に区役所で申請してください。なお、新たに七十歳になる方や転入者などにも、九月に敬老パスを交付します。詳しくは28ページをご覧ください。

【詳細】 区役所の(1階)の保健福祉課

追加交付を希望する方は手続きを忘れずに!

対象: 当初の交付枚数が、4枚(4万円)以下の方。
枚数・金額: 年間の合計が、5枚(5万円)まで。
申込: 当初、交付を受けた際の領収書と印鑑を持参し、8月31日(木)までにお住まいの区の保健福祉課に申請(領収書がない場合は本人確認ができるものを持参)。
交付: 9月中旬以降に指定の郵便局で代金と引き換え。
 ※新たに申請書などの送付はしません。

キーワード

短編映画

世界70カ国から約1,800作品が集結

第1回札幌国際短編映画祭が開催

札幌国際短編映画祭(SAPPORO SHORT FEST)が、九月六日(水)から十日(日)まで開催されます。期間中は、応募のあった約千八百作品の中から選考された約百作品を東宝プラザなどで上映。九日には、グランプリや監督賞などを発表します。

この映画祭は、映像産業や情報関連(IT)産業のさらなる活性化を目指し開催するもの。短編映画のマーケットも開設し、作品上映権の販売や、優秀な監督の発掘など、新たなビジネスの場としても期待されます。

世界の優れた作品を楽しむ五日間。皆さんも会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。

【詳細】 産業企画課 ☎(211)2372

映画祭の対象となる作品

すべて30分未満の短編作品で、アニメーションや無声映画、1分以内の超短編などさまざまなジャンルを対象とします。

作品上映案内

5~7本の短編作品を90分のプログラムに編成し上映します。「映画好き」、「親子で楽しむ」、「ロマンチック」などをテーマに、バラエティー豊かな作品が楽しめます。

日時: 9月6日(水)~10日(日)午前10時~午後11時30分。

9日(土)のみ翌朝まで上映。

会場: 東宝プラザ(中央区南2西5)ほか。

料金: 1プログラム券1,200円

(前売り1,000円)。

VIP券7,000円(全プログラム鑑賞可)。

※チケットは、市内プレイガイド、ローソンなどで発売中。



上映プログラム、チケットの種類など詳しくは、ホームページをご覧ください。

HP sapporoshortfest.jp